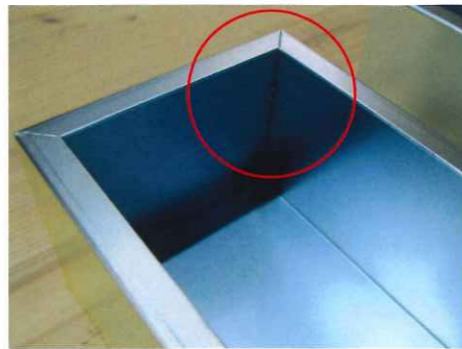


我が社の技術



他社でメッキを付けた場合



弊社でメッキを付けた場合

上記2枚の写真を比較すると左の写真（他社でメッキをつけた場合）はしっかり隅までメッキがついておらず、素地が露出したままです。

この状態だと素地部分の腐食は防げず、メッキ～乾燥～検査時点から腐食が始まり出荷時には赤サビが発生してしまいます。

これはメッキをつける際、メッキ浴中で製品からガスが発生し、写真のような製品の場合そのガスが一部所に溜まりメッキがつかないため起こります。

我が社では、全自動ライン・手動静止ラインどちらでも、どのような製品でも、隅までメッキをつけることが可能です。

右の写真（弊社でメッキをつけた場合）をご覧くださいと違いは明らかです。

しっかり隅までメッキがついているので、亜鉛メッキの特徴である防食・防錆効果が確実に発揮されます。

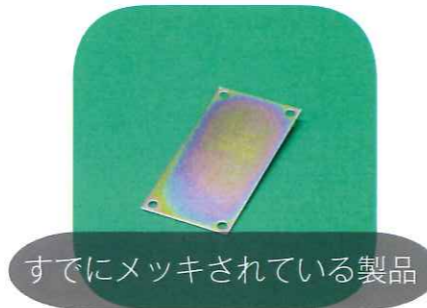
亜鉛メッキ可能な鉄鋼材料



表面処理鋼板



黒皮材



すでにメッキされている製品

一般的なSPCC材はもちろんのこと、表面処理鋼板や黒皮材（SS400など）、すでにメッキされている製品なども対応可能です。表面処理鋼板やメッキされている製品はメッキの前工程の酸洗い時に通常スマットが残りますが、弊社ではスマットを完全に除去できるのでシミにならず綺麗に仕上がります。黒皮材に対しては、前処理で黒皮を完全に落とし、その後メッキをつけるのでこちらもシミにならず綺麗に仕上がります。

処理設備（写真上から全自動機、回転バレル、静止槽）

大小様々な製品、一個から量産品、どんな製品にも対応しています。メッキのつけ方は3通りあるので、製品により一番綺麗に仕上がる方法を選ぶことができます。それぞれに一長一短がありますので、ご相談ください。

最大、横2200mm深さ1200mmの処理槽に入るものであれば処理可能。メッキの膜厚は標準で8μm前後ですが製品の公差など細かく指示のある場合でも対応可能です。ご要望がありましたらご相談ください。

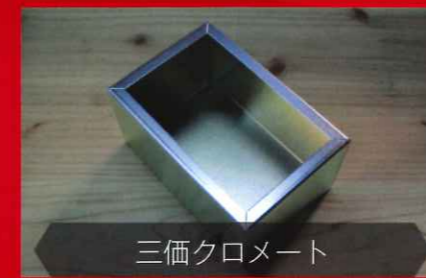


製品一覧

RoHs対応品（六価クロムを不使用）

三価クロメート 六価クロムが含まれていない。耐食性に優れている。色味は、青虹色。

三価ユニクロ 六価クロムが含まれていない。美観性が非常に良い。色味は、青色。



三価クロメート



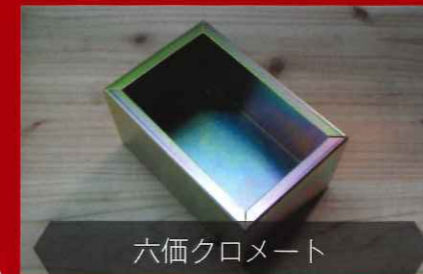
三価ユニクロ

RoHs非対応品（六価クロムを使用）

六価クロメート 最も耐食性に優れている。色味は、虹色。

六価ユニクロ 美観性が非常に良い。色味は、青色。

六価黒クロメート 美観性が非常に良い。色味は、黒色。



六価クロメート



六価ユニクロ



六価黒クロメート

会社概要

会社名
所在地
TEL
FAX
URL
資本金
代表者
従業員数
取引銀行

有限会社 武蔵野化学工業所
〒189-0011 東京都東村山市恩多町1-18-11
042-394-0421
042-394-0455
<https://www.musashino-chemical.co.jp/>
五百万円
加藤 道夫（取締役）
5名
西武信用金庫・三井住友銀行

